

公益財団法人 8020 推進財団 令和 5 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	生涯にわたるフッ化物応用普及啓発事業
2. 申請者：	NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会会長 荒川浩久
3. 実施組織：	NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会
4. 事業の概要：	<p>健康寿命延伸の重要な要素の一つとして、多数の歯を残し活発な咀嚼を継続することが挙げられる。しかしながら、永久歯は歯周病ならびにう蝕とその継発症によって喪失していく。永久歯う蝕は、幼少期の小窩裂溝から、隣接面、歯頸部、歯根面と、年齢とともに発生しやすい部位が変化し、そのリスクは一生継続。したがって、健康寿命の延伸には、一生涯う蝕予防を継続し、多数の歯を残すことが必要である。そこで、すべての歯面のう蝕予防に有効な手段であるフッ化物応用を、生涯継続することの普及啓発を図ることを本事業の目的とした。この目的を遂行するために、NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協が「むし歯予防全国大会」を開催し、併せてフッ化物応用に関するリーフレットを作成し、生涯にわたるフッ化物応用継続の重要性を啓発した。</p>
5. 事業の内容：	<p>(1) フッ化物応用の普及啓発</p> <p>生涯にわたるフッ化物応用の効用とその方法をまとめたリーフレット（タイトル：大人もフッ化物でむし歯予防!!、体裁：A4 両面カラー印刷、作成部数：2000 部）を作成し、第 44 回むし歯予防全国大会 in NUMAZU 参加者に配布するとともに、静岡県歯科医師会と県内の郡市歯科医師会、静岡県歯科衛生士会、静岡県と県内の市町村に送付して活用していただく。その際に必要があれば、リーフレットを複写して使用していただくこととした。</p> <p>(2) 第 44 回むし歯予防全国大会 in NUMAZU の開催</p> <p>2023 年 12 月 9 日（土）に沼津市において 195 名の参加者のもとで開催した。「みんなで創る健口社会 ～誰一人取り残さない笑顔あふれる街づくり～」をテーマとし、一生涯フッ化物応用の継続が重要という主旨の基調講演 2 題と静岡県東部地区での小中学校におけるフッ化物洗口導入を目的に、行政関係者を交えた小中学校でのフッ化物洗口に関するシンポジウムを開催し、フッ化物応用の理解を広め、県民への啓発と全国への発信を行った。</p>
6. 実施後の評価：	<p>全国大会開催とリーフレット作成によって、生涯にわたるフッ化物応用継続の重要性ならびに小中学校における集団フッ化物洗口という公衆衛生的な手段の導入の必要性が共通認識できた。今後は、この実現に向けて、今回の全国大会の主管として組織された「フッ化物でむし歯予防をすすめるチーム静岡」が、県内でのフッ化物応用の推進を進めていくこととした。また、作成したリーフレットは静岡県外からの要請にも応じることとした。</p>